

原一男監督を囲んでのトーク茶話会

テーマ 「南アフリカで水俣病について考える」

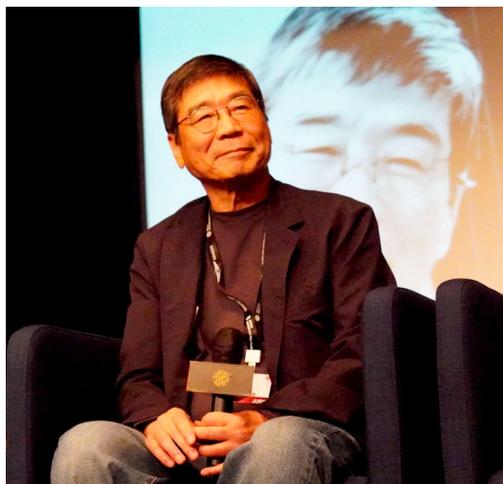
今回のトーク茶話会ではゲストに原一男さんをお迎えします。「南アフリカで水俣病について考える～水俣曼茶羅part2撮影報告会」について40～50分ほどトークしていただき後に、少人数の参加者を交えてのゆったりとした茶話会（飲み物・お菓子）を開催いたします。皆様のお申し込みをお待ちしております。

参加をご希望される方は事前登録が必要です。こちら [\(https://isfweb.org/symposium/\)](https://isfweb.org/symposium/) から、お申し込み下さい。

はら かずお

【原一男監督】

1945年6月、山口県宇部市生まれ。東京総合写真専門学校中退後、養護学校の介助職員を経て69年銀座ニコンサロンにて写真展『ばかにすんな』開催、72年小林佐智子と共に疾走プロダクションを設立し『さようならCP』で監督デビュー。87年『ゆきゆきて、神軍』が大ヒット、日本映画監督協会新人賞、ベルリン映画祭カリガリ賞、パリ国際ドキュメンタリー映画祭グランプリなどを受賞。94年小説家・井上光晴の虚実に迫る『全身小説家』を発表。キネマ旬報ベストテン日本映画第一位、毎日映画コンクールで、毎日日本映画大賞を受賞。などを獲得。18年『ニッポン国VS泉南石綿村』完成、釜山国際映画祭メセナ賞(最優秀ドキュメンタリー賞)などを受賞、19年ニューヨーク近代美術館(MOMA)にて全作品が上映された。2020年、20年の歳月をかけた『水俣曼茶羅』三部構成372分が完成全国で公開される。2023年、釜山国際映画祭ドキュメンタリー映画部門の審査員として招かれる。現在は、遺言3部作の製作、国内外の上映会で講演を行っている。



期 日： **11月20日(水) 午後6半～**

参加費：1,000円（会員・サポーターは半額）

会 場：ISF独立言論フォーラム（株式会社リンク会議室）

東京都港区北青山2-14-4 アーガイル青山14F 株式会社リンク内
（地下鉄銀座線外苑前駅[3]番出口 徒歩1分）

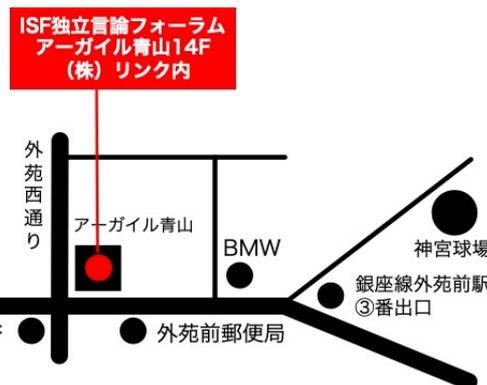
当日の連絡は、ISF編集長の木村朗までご連絡をお願いします（携帯番号：090-2856-0955）

申込み：先着20名 ＊会員・サポーターの方を優先的に受付させていただきます。

参加をご希望される方は、独立言論フォーラムへの事前申し込みをお願いいたします。

申込フォーム：<https://isfweb.org/symposium/>

メールの場合には、ご参加の方のお名前と原一男さんトーク茶話会を明記の上 info@isfweb.org までお願い致します。



主催：ISF独立言論フォーラム

一般社団法人独立言論フォーラム 東京都港区北青山2-14-4 アーガイル青山14F

 info@isfweb.org